

見学お役立ちシート

名称	隈部氏館跡
住所	〒861-0404 熊本県山鹿市菊鹿町上永野
電話番号	山鹿市教育委員会社会教育課 0968-43-1651
地図URL	https://goo.gl/maps/6ftbMoLEb5uJEgyn8 
営業時間 見学所要時間 (目安)	見学自由 所要時間：20～30分程度
料金	無料
駐車場・トイレ	駐車場あり、トイレあり
時代	戦国時代 16世紀代
参考URL	https://www.city.yamaga.kumamoto.jp/www/contents/1264125462844/ https://www.city.yamaga.kumamoto.jp/www/contents/1400116794221/files/kumabe02.pdf https://www.city.yamaga.kumamoto.jp/www/contents/1400116794221/files/kumabe01.pdf
出典	『山鹿市の指定文化財』42頁 『山鹿市のでびき』61頁
	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定史跡（平成21年指定） ・標高345mほどの山腹にあります。 ・戦国時代の館跡。山腹に礎石・庭園・土塁・石塁・堀切等の遺構が大変よく残っています。一帯は公園として整備され、当時の遺構が随所に見られるとともに、季節に応じた自然の変化が感じられる場所にもなっています。 ・城主は、肥後国衆一揆の中心人物でもある隈部親永です。館跡は、中世、肥後国の有力国人であった隈部氏の16世紀代の居館跡です。筑後・豊後の国境にほど近い八方ヶ岳山系の南西側山腹、山鹿市菊鹿町上永野の標高340m程の地点に所在しており、天正15年（1587）、肥後国主の佐々成政の支配に反旗を翻した隈部親永が隈府城に移るまで本拠としたのが隈部氏館です。 ・主郭を中心に、裏側に堀切2条、西側斜面に小段群、館正面側の南西縁下に大規模な堀切を、館正面に二つの区画を配する。入り口部に石積みの枳形虎口(ますがたこぐち)を設ける主郭では、礎石建物3棟、雨落溝(あまおちみぞ)、炉跡と思われる環状の石組、庭園遺構等が見つかりました。見つかった建物はそれぞれ主殿、庭園を伴う会所、蔵や台所の建物と推測されます。庭園遺構は、遠くの山並みを背景に、滝石組(たきいしぐみ)最上部に据えられた尖頭型(せんとうがた)の立石(りっせき)を起点として、背後の丘が南へ下っていく地形に応じるように、順次高さを低くしながら要所に石を立てる構成です。 ・隈部親永の銅造が、平成23年11月に菊鹿町のあんずの丘公園の高台に建立されました。高さは台座合わせて10mの堂々たる武将姿です。